

令和3年度

山形大学大学院

**理工学研究科博士前期課程
学生募集要項（工学系）**

**有機材料システム研究科
博士前期課程学生募集要項**

【10月入学】

令和3年5月

**山形大学大学院理工学研究科
山形大学大学院有機材料システム研究科**

★外部テスト（TOEIC®TEST 又は TOEFL®TEST）の利用について

新型コロナウイルス感染症の拡大状況及び、TOEIC® Listening & Reading 公開テストが当面の間、抽選方式での申込受付となったことを受けて、下記の対応を行います。

記

【対応内容】

令和3年度博士前期課程入学試験（10月入学）一般入試においては、外部テスト（TOEIC 又は TOEFL）の成績を利用しません。

また、出願書類として、外部テスト（TOEIC 又は TOEFL）の成績書の提出を求めません。

★その他今後の対応等について

現在のところ、各入試区分においては、3つの密（密閉・密集・密接）を避け、受験生が安心して受験できるよう試験実施体制を整えた上で、工学部試験場にて実施する予定です。

なお、海外に在住し、新型コロナウイルス感染症の影響により試験日に来日が困難で、工学部試験場での入学試験を受験できない方は、至急、山形大学工学部入試担当（電話（0238）26-3013）までご連絡願います。

今後、新型コロナウイルス感染症の影響により、上記の内容、及び本要項の記載内容に変更が生じる場合は、本研究科ホームページ「入学案内」及び「大学院受験生の方」でお知らせしますので、随時確認してください。

【山形大学工学部／大学院・理工学研究科／有機材料システム研究科 ホームページ】

<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp>

目 次

アドミッション・ポリシー	1
1 入学者の選抜種別	4
2 募集人員（一般入試，社会人入試，外国人留学生入試）	4
3 日程	4
4 出願資格	5
5 入学資格審査について	7
6 出願期間	7
7 出願手続	8
8 入学者選抜方法	10
9 試験場	13
10 受験者心得	13
11 受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談	13
12 合格者の発表	14
13 入学手続	14
14 授業料	14
15 その他	14
16 教育方法の特例措置について	14
17 長期履修学生制度について	15
18 教育訓練給付制度について	15
19 研究科の概要	15

★お問合せ先

山形大学工学部入試担当

〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目 3-16

電話 (0238) 26-3013

アドミッション・ポリシー

理工学研究科（工学系）

理工学研究科（工学系）は、博士前期課程（Master's Program）の化学・バイオ工学専攻、情報・エレクトロニクス専攻、機械システム工学専攻、建築・デザイン・マネジメント専攻の4専攻と博士後期課程（Doctor's Program）の物質化学工学専攻、バイオ工学専攻、電子情報工学専攻、機械システム工学専攻、ものづくり技術経営学専攻の5専攻からなります。

博士前期課程では、科学技術の高度化・国際化に対応できる幅広い視野と工学分野の精深な学識と高度な技能に加え、21世紀の社会情勢と産業構造の変革に呼応して、地域創生・次世代形成・多文化共生に資する豊かな人間力を備えた人材を輩出するという方針のもと、高度な研究環境において教育を実践します。

博士後期課程では、グローバル化の進む中、それぞれの専攻分野において基礎となる豊かな学識と高度な研究能力を養う博士（工学、学術）教育を推進して卓越した専門性と自立した研究者、教育者として世界に通用する人材を輩出しています。

理工学研究科（工学系）の求める学生像は、以下のとおりです。

◆求める学生像

- 専門分野の学修に必要な基礎学力を有し、さらに深く学ぼうとする意欲
- 専門分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探究や課題解決に取り組む積極性と意欲
- 社会に貢献する積極性と意欲
- 自ら考えて決断、行動する力
- 協調性と高い倫理観

博士前期課程

（化学・バイオ工学専攻）

◆求める学生像

博士前期課程では、以下を持つ人材を筆記試験と口頭試問及び面接試験により選抜します。

- 専門分野に関する基礎学力を有し、さらに深く学ぼうとする意欲
- 専門分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探究や研究開発に取り組む積極性と社会に貢献する意欲
- 自ら考えて決断、行動する力
- 協調性と高い倫理観

◆入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- （1）一般入試（学力検査等（筆記試験、面接、口頭試問又は外部テストの成績書等）及び出身大学等の成績証明書の審査結果を総合して判定）
- （2）社会人入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- （3）外国人留学生入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- （4）推薦入試（面接及び口頭試問、出身大学等の成績証明書、推薦書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）
- （5）学部3年次学生を対象とする特別入試（面接及び口頭試問、在籍大学の成績証明書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）

（情報・エレクトロニクス専攻）

◆求める学生像

博士前期課程では、以下を持つ人材を筆記試験と口頭試問及び面接試験により選抜します。

- 専門分野に関する基礎学力を有し、さらに深く学ぼうとする意欲
- 専門分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探究や研究開発に取り組む積極性と社会に貢献する意欲
- 自ら考えて決断、行動する力
- 協調性と高い倫理観

◆入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- (1) 一般入試（学力検査等（筆記試験、面接、口頭試問又は外部テストの成績書等）及び出身大学等の成績証明書の審査結果を総合して判定）
- (2) 社会人入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- (3) 外国人留学生入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- (4) 推薦入試（面接及び口頭試問、出身大学等の成績証明書、推薦書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）
- (5) 学部3年次学生を対象とする特別入試（面接及び口頭試問、在籍大学の成績証明書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）

（機械システム工学専攻）

◆求める学生像

博士前期課程では、以下を持つ人材を筆記試験と口頭試問及び面接試験により選抜します。

- 専門分野に関する基礎学力を有し、さらに深く学ぼうとする意欲
- 専門分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探究や研究開発に取り組む積極性と社会に貢献する意欲
- 自ら考えて決断、行動する力
- 協調性と高い倫理観

◆入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- (1) 一般入試（学力検査等（筆記試験、面接、口頭試問又は外部テストの成績書等）及び出身大学等の成績証明書の審査結果を総合して判定）
- (2) 社会人入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- (3) 外国人留学生入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- (4) 推薦入試（面接及び口頭試問、出身大学等の成績証明書、推薦書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）
- (5) 学部3年次学生を対象とする特別入試（面接及び口頭試問、在籍大学の成績証明書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）

（建築・デザイン・マネジメント専攻）

◆求める学生像

博士前期課程では、以下を持つ人材を筆記試験と口頭試問及び面接試験により選抜します。

- 専門分野に関する基礎学力を有し、さらに深く学ぼうとする意欲
- 専門分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探究や研究開発に取り組む積極性と社会に貢献する意欲
- 自ら考えて決断、行動する力
- 協調性と高い倫理観

◆入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- (1) 一般入試（学力検査等（筆記試験、面接、口頭試問又は外部テストの成績書等）及び出身大学等の成績証明書の審査結果を総合して判定）
- (2) 社会人入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- (3) 外国人留学生入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- (4) 推薦入試（面接及び口頭試問、出身大学等の成績証明書、推薦書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）
- (5) 学部3年次学生を対象とする特別入試（面接及び口頭試問、在籍大学の成績証明書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）

有機材料システム研究科

有機材料システム研究科は、有機材料システム分野における学生の探究心に応え、能力を啓発し、自立さらには新分野を開拓できる人材を育成する理念のもと、基礎知識を展開して高度な専門課題にも問題解決能力を有する技術者・研究者・教育者の養成、さらに、人として高い倫理観を持った技術者・研究者・教育者の養成を目標としています。有機材料システム研究科では、有機材料の基礎から応用に至る知識を単に修得するのみならず、それらを核として他分野との連携により拡張される、より広範な有機材料システム分野を教育・研究の対象とします。

有機材料システム研究科の求める学生像は以下のとおりです。

博士前期課程

◆求める学生像

博士前期課程では、以下を持つ人材を筆記試験と口頭試問及び面接により選抜します。

- 有機材料分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探究や研究開発に積極的に取り組む人
- 有機材料システム分野に関する知識や技術を通して広く社会に貢献したい人
- 社会の中での協調性を保ちながら、自ら考えて決断、実行出来る人、他人への思いやりの心と高い倫理観を持つ人

◆入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- (1) 一般入試（学力検査等（筆記試験、面接、口頭試問又は外部テストの成績書等）及び出身大学等の成績証明書の審査結果を総合して判定）
- (2) 社会人入試（面接及び口頭試問並びに書類審査の結果を総合して判定）
- (3) 外国人留学生入試（面接及び口頭試問並びに書類審査の結果を総合して判定）
- (4) 推薦入試（面接及び口頭試問、出身大学等の成績証明書、推薦書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）
- (5) 学部3年次学生を対象とする特別入試（面接及び口頭試問、在籍大学の成績証明書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）

1 入学者の選抜種別

理工学研究科及び有機材料システム研究科は、博士課程の前期課程と後期課程からなり、この募集要項のうち、理工学研究科については博士前期課程【10月入学】の工学系についてのものです。入学者の選抜は「一般入試」、「社会人入試」及び「外国人留学生入試」の方法で行います。なお、理工学研究科博士前期課程（理学系）各専攻の学生募集については、別に募集要項を作成し公表しておりますので、ご注意願います。

2 募集人員（一般入試，社会人入試，外国人留学生入試）

理工学研究科（工学系）

専攻名	募集人員		
	一般入試	社会人入試	外国人留学生入試
化学・バイオ工学専攻	若干人	若干人	若干人
情報・エレクトロニクス専攻	若干人	若干人	若干人
機械システム工学専攻	若干人	若干人	若干人
建築・デザイン・マネジメント専攻	若干人	若干人	※

※ 建築・デザイン・マネジメント専攻の外国人留学生入試は、本要項とは別に募集要項を作成し入学者選抜を実施しました。

有機材料システム研究科

専攻名	募集人員		
	一般入試	社会人入試	外国人留学生入試
有機材料システム専攻	若干人	若干人	若干人

(注) 募集人員については、一般入試，社会人入試，外国人留学生入試のすべての入試において、それぞれ若干人を募集します。

3 日程

項目等	月日
入学資格審査書類提出期間	令和3年6月21日（月）～6月25日（金）（必着）
入学資格審査結果の通知期日	令和3年7月2日（金）
一般入試	出願期間 令和3年7月20日（火）～7月28日（水）（必着）
社会人入試	試験日 令和3年8月24日（火），8月25日（水）
外国人留学生入試	合格者発表 令和3年9月2日（木）11時（予定）

4 出願資格

(1) 一般入試

次の各号のいずれかに該当する者又は令和3年9月までに該当する見込みの者とします。

- ① 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条第1項に定める大学（以下「大学」という。）を卒業した者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価をうけたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- ⑨ 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- ⑩ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- ⑪ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- ⑫ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者

(2) 社会人入試

本入試は、各種の研究機関、教育機関又は企業等で活躍している社会人の研修の継続あるいは自己再教育の場として両研究科博士前期課程を開放し、併せて、生涯教育に寄与することを目的としています。

各種研究機関、教育機関又は企業等に令和3年10月1日現在で1年以上勤務経験のある技術者又は研究者で次の各号のいずれかに該当する者とします。

- ① 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条第1項に定める大学（以下「大学」という。）を卒業した者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価をうけたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大

臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者

- ⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- ⑨ 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- ⑩ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- ⑪ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- ⑫ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者

(3) 外国人留学生入試

(建築・デザイン・マネジメント専攻は、本要項とは別に募集要項を作成し、入学者選抜を行いました。)

日本国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当する者又は令和3年9月までに該当する見込みの者とします。

ただし、日本の国籍を有しない者でも、日本の大学を卒業した者(令和3年9月卒業見込みの者を含む。)は、外国人留学生入試の対象とはなりません。

- ① 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ② 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ③ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ④ 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑤ 外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- ⑥ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- ⑦ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者

(注) 講義は、主として日本語で行われます。

5 入学資格審査について

出願資格（１）一般入試の⑨，⑩，⑪，⑫，（２）社会人入試の⑨，⑩，⑪，⑫及び（３）外国人留学生入試の⑤，⑥，⑦のいずれかにより志願しようとする者については，事前に書類による個別の入学資格審査を行います。下記の【入学資格審査書類】を一括し，所定の期日までに，山形大学工学部入試担当に提出してください。

ただし，学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条第1項に定める大学を令和3年9月卒業見込みの者については，入学資格審査は必要ありません。

【入学資格審査書類】

- ・ 入学資格審査願（本要項に添付の用紙）
- ・ 最終卒業学校分の卒業証明書（原本）
- ・ 最終卒業学校分の成績証明書（学校長が作成し，厳封したもの）
- ・ 入学試験出願資格認定審査調書（本要項に添付の用紙）
- ・ 返信用封筒（市販の封筒（長形3号・23.5cm×12cm）に郵便番号・住所・氏名を記入し，84円分の切手をはったもの）
- ・ 論文別刷等（研究業績等がある者のみ）

なお，外国の学校又は外国の機関において作成する書類が日本語又は英語以外の場合には，和訳又は英訳を添付してください。

入学資格審査書類提出先 山形大学工学部入試担当
〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16

「入学資格審査願」及び「入学試験出願資格認定審査調書」は，山形大学工学部/大学院・理工学研究科/有機材料システム研究科のホームページ（<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp>）「大学院受験生の方」内の「各種募集要項」からダウンロードし，A4判白紙に片面で印刷の上，記入及び提出してください。

【注意事項】出願資格（１）一般入試の⑨，⑩，⑪，⑫，（２）社会人入試の⑨，⑩，⑪，⑫及び（３）外国人留学生入試の⑤，⑥，⑦について

高等専門学校，短期大学，専修学校，各種学校，外国大学日本分校（出願資格（１）の⑤，（２）の⑤，（３）の③を除く。），外国人学校の卒業生など大学卒業資格を有していない者が入学を志願しようとする場合，本研究科において事前に個別の入学資格審査を行い，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者については，本研究科に出願することができます。

なお，同資格審査は，過去に本研究科が交付した「入学試験に係る入学資格の認定通知書」をもって代えることができます。

入学資格審査により出願する場合は，当該通知書の写しを出願書類に添付してください。

入学資格審査書類提出期間	審査結果の通知期日
令和3年 6月21日（月）～6月25日（金）（必着）	令和3年7月2日（金）

6 出願期間

出 願 期 間
令和3年 7月20日（火）～7月28日（水）（必着）

出願受付は，土・日曜日，祝日を除きます。

受付時間は9時から16時30分までとします。

出願期間を過ぎた場合は受理しませんので，郵送する場合は郵送に要する日数等を十分考慮の上，送付してください（郵送の場合も上記の期限までに**必着**とします。）。

7 出願手続

(1) 出願書類等

出 願 書 類	作 成 上 の 注 意
入 学 願 書 写 真 票 受 験 票	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本要項に添付の所定の用紙に、必要事項を記入してください。 ○ 外国人留学生入試志願者は、氏名を漢字若しくはローマ字とし、姓 (Last (Family) name)、名 (First (Given) name)、ミドルネーム等の順で記入してください。 ○ 「保護者の住所・氏名」は、社会人入試志願者は記入不要です。外国人留学生入試志願者は、母国の住所を記入してください。 ○ 「履歴」は、大学入学時から記入してください。ただし、外国人留学生入試志願者は、小学校入学時から記入してください。 ○ 写真票の所定欄に出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きの写真 (4 cm × 3 cm) をはってください。 ○ 希望指導教員名欄の記入に当たっては、山形大学工学部/大学院・理工学研究科/有機材料システム研究科のホームページ (https://www.yz.yamagata-u.ac.jp) 「大学院受験生の方」の「博士前期課程担当教員表」を参照してください。
卒業証明書又は 卒業見込証明書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出身大学長 (学部長) 又は出身学校長が作成した原本とします。 ○ 外国の大学又は学校の出身者で、やむを得ず写しを提出する場合は、最寄りの大使館、領事館等で原本証明を受けてください。 ○ 外国の学校又は外国の機関において作成する書類が日本語又は英語以外の場合には、和訳又は英訳を添付してください。
成 績 証 明 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出身大学長 (学部長) 又は出身学校長が作成し、厳封された原本とします。 ○ 外国の大学又は学校の出身者で、やむを得ず写しを提出する場合は、最寄りの大使館、領事館等で原本証明を受けてください。 ○ 外国の学校又は外国の機関において作成する書類が日本語又は英語以外の場合には、和訳又は英訳を添付してください。
学士の学位授与 (申請) 証明書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出願資格 (1) の②、(2) の②資格で出願する方及び外国の大学又は学校の出身者で学士の学位 (学士の学位に相当する学位を含む。) を有する方が提出してください。 ○ 出身大学長 (学部長) 又は出身学校長が作成した原本とします。 ○ 出願資格 (1) の②、(2) の②の資格で出願する方が提出する証明書については、大学改革支援・学位授与機構が発行する学位授与証明書又は「大学改革支援・学位授与機構に学位授与の申請 (予定) をしている」旨を明記した証明書 (様式任意) で、出身大学長 (学部長) 又は出身学校長が作成したものとしてします。 ○ 外国の大学又は学校の出身者で、やむを得ず写しを提出する場合は、最寄りの大使館、領事館等で原本証明を受けてください。 ○ 外国の学校又は外国の機関において作成する書類が日本語又は英語以外の場合には、和訳又は英訳を添付してください。
研 究 (希 望) 計 画 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会人入試に出願する方が提出してください。 ○ 本要項に添付の所定の用紙に、博士前期課程で学習したい研究課題 (又は研究分野) 及び研究計画の概要を 1,000 字以内にまとめて記入してください。
職 務 経 歴 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会人入試に出願する方が提出してください。 ○ 本要項に添付の所定の用紙に、研究・業務歴及び研究業績を記入してください。研究論文、技術報告、特許・実用新案等がある場合は、その業績を表す文書等の写しを添付してください。

出 願 書 類	作 成 上 の 注 意
<p>検定料を振り込んだことが分かる書類の写し</p>	<p>○ 検定料 30,000 円 ただし、本学出願時に入学後の国費外国人留学生奨学金の受給が決定されている方については、検定料を納付する必要はありませんので、国費外国人留学生奨学金の受給決定者であることを確認できる書類の写しを添付してください。</p> <p>1 払込期間 令和3年7月13日（火）～7月28日（水）まで</p> <p>2 払込方法 （1）以下の振込先に金融機関窓口又はATMから振り込んでください。 金融機関窓口からは「電信扱」で振り込んでください。 （2）振込の際、ご依頼人名・振込人名等には、必ず数字の「251」（理工学研究科（工学系）に出願の場合）もしくは「253」（有機材料システム研究科に出願の場合）と記入した後に出願者本人の氏名を記入してください この数字は本学で振込人の志願専攻等を識別するためのものです。 （3）振込手数料は各自で負担してください。</p> <p>3 振込先 【金融機関名】山形銀行 【支店名】本店営業部 【預金種別】普通口座 【口座番号】59358 【口座名義（カナ名義）】ヤマガタダイガク 【口座名義（国名義）】国立大学法人山形大学 学長 玉手英利</p> <p>4 振込内容が分かる振込控え（「ご利用明細」など）の写しを提出してください。 振込控えに預金残高など出願に関係のない個人情報が入力されている場合は、「振込日時」「振込先」「振込人氏名」「振込金額」以外は塗りつぶしてもかまいません。 振込控えに「振込予約日」が記載されている場合は、「振込予約日」を塗りつぶさないでください。 モバイルバンキングなど、振込控えが出ない方法では振り込まないでください。</p> <p>5 既に払い込んだ検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 （1）検定料を払い込んだが出願しなかった場合（出願書類等を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を含みます。） （2）誤って検定料を二重に払い込んだ場合 （3）出願後に国費外国人留学生奨学金の延長が決定し、本学に入学する場合</p> <p>6 返還手続 検定料の返還を希望する場合は、下記 URL から「検定料返還申出書」をダウンロードし、必要事項を記入及び必要書類を添付の上、令和4年3月31日（木）までに出願書類提出先まで送付してください。 https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/entrance/faq/return/ ※返還請求についてのお問合せ先：山形大学工学部入試担当 （電話 0238）26-3013</p>
<p>返信用封筒</p>	<p>○ 市販の封筒（長形3号・23.5cm×12cm）に志願者本人の郵便番号・住所・氏名を記入し、84円分の切手をはって提出してください。</p>
<p>ラベル票</p>	<p>○ 本要項に添付の所定の用紙に、志願者が確実に合格通知等を受け取ることができる住所等を記入してください。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 外国人で、住民登録をしている方は、住民票の写しを提出してください。 ○ 住民登録をしていない方は、パスポートの写し、本国の戸籍抄本又は市民権等の証明書のうちいずれか1つを提出してください。</p>

(注) 出願資格(1)の⑨、⑩、⑪、⑫、(2)の⑨、⑩、⑪、⑫及び(3)の⑤、⑥、⑦のいずれかにより入学資格審査を受けた場合、卒業証明書及び成績証明書の提出は必要ありません。代わりに、本研究科の交付する「入学試験に係る入学資格の認定通知書」の写しを提出してください。

(2) 出願に当たっての留意事項

- ① 入学願書等の出願書類は、山形大学工学部／大学院・理工学研究科／有機材料システム研究科ホームページ (<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp>) 「大学院受験生の方」内の「各種募集要項」からダウンロードし、A4版白紙に片面で印刷の上、記入及び提出してください。
- ② 入学志願者は、必ず希望指導教員に事前に相談してから、出願書類を一括し、所定の期日までに下記の出願書類提出先に提出してください。
なお、郵送する場合は書留郵便とし、封筒に「大学院理工学研究科博士前期課程（工学系・10月入学）入学願書在中」または「大学院有機材料システム研究科博士前期課程（10月入学）入学願書在中」と朱書きしてください。

【出願書類提出先】 山形大学工学部入試担当
〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16

8 入学者選抜方法

(1) 一般入試

- ① 入学者の選抜は、各専攻の指定する学力検査等及び出身大学等の成績証明書の審査結果を総合して行います。
- ② 学力検査等及び試験日時
※ 面接及び口頭試問は、特に記載のない場合、卒業研究の内容や大学院に入学後の研究計画等について行います。

理工学研究科（工学系） 【化学・バイオ工学専攻】

試験日	試験時間	試験科目等	
令和3年8月24日（火）	13:30～16:30	専門科目 （*）	化学・バイオ工学 （分野：化学工学・物理化学，無機化学， 有機化学，細胞生物学・生化学） （4分野から各2問出題，8問中3問選択）
令和3年8月25日（水）	9:00～ （1人10分程度）	面接及び口頭試問	

*試験会場で電卓を貸与します。各自が持ち込んだ電卓の使用は禁じます。

*専門科目（各分野）の出題範囲は次のとおりです。

分野名	出題範囲
化学工学・物理化学	化学工学量論，移動現象論，反応工学，化学熱力学の基礎，気体と固体並びに液体の性質と構造及び状態変化，反応速度論
無機化学	原子の構造と元素の周期性，酸と塩基・酸化と還元，遷移金属錯体，無機固体の基礎
有機化学	有機化合物の命名法，構造及び物性，反応機構，合成反応
細胞生物学・生化学	細胞の構造と機能，代謝とエネルギー生産，細胞間相互作用，膜の構造と機能，糖質，脂質，アミノ酸・ペプチド・タンパク質，酵素，核酸，生理活性物質

【情報・エレクトロニクス専攻】

試験日	試験時間	試験科目等	
令和3年8月24日(火)	10:00～11:30	基礎科目	数学 (必修:微分積分, 線形代数) (選択:フーリエ解析, ラプラス変換, 情報数学より1科目選択)
	13:30～ (1人25分程度)	面接及び口頭試問 (卒業研究と専門科目の内容を含み, 専門科目については, 電磁気, 電気・電子回路, 計算機基礎, データ構造とアルゴリズムから2問を選択)	

(注) 試験当日は指定外の持ち込み物は禁止します(P13「10 受験者心得」参照)。

【機械システム工学専攻】

試験日	試験時間	試験科目等	
令和3年8月24日(火)	13:30～16:30	専門科目(*)	材料力学 熱力学・流体力学 機械力学
令和3年8月25日(水)	9:00～ (1人10分程度)	面接及び口頭試問	

*電卓の使用は禁じます。

*専門科目の出題範囲は次のとおりです。

専門科目名	出題範囲
材料力学	材料の基本的力学特性(弾性, 塑性, 破断), 引張とせん断の変形と応力, はりの静定・不静定曲げ問題
熱力学・流体力学	エネルギー保存則, 状態量と状態変化, 質量と運動量の保存, 流体の回転と渦, 管内の流れ
機械力学	静力学, 運動の法則, 自由振動, 質点系の力学, 剛体の力学

【建築・デザイン・マネジメント専攻】

試験日	試験時間	試験科目等
令和3年8月24日(火)	9:00～ (1人20分程度)	面接及び口頭試問

有機材料システム研究科

【有機材料システム専攻】

試験日	試験時間	試験科目等	
令和3年8月24日(火)	13:30～	専門科目(*1)	高分子科学(*2)
令和3年8月25日(水)	9:00～ (1人15分程度)	面接及び口頭試問	

*1 専門科目の出題範囲は次のとおりです。

専門科目名	出題範囲
高分子科学	高分子合成, 高分子溶液, 固体構造, 高分子物性

*2 専門科目の試験は, 口頭試問で行います。

(2) 社会人入試

① 入学者の選抜は、全専攻とも面接及び口頭試問並びに書類審査の結果を総合して行います。

② 面接及び口頭試問の日時

理工学研究科（工学系） **有機材料システム研究科**
【全専攻共通】

試験日	試験時間	試験科目等
令和3年8月24日（火）	13:30～ (1人20分程度)	面接及び口頭試問（*）

* 試験の内容、持参品等については、各専攻にお問合せください。

(3) 外国人留学生入試

① 入学者の選抜は、全専攻とも面接及び口頭試問並びに書類審査の結果を総合して行います。

② 面接及び口頭試問の日時

理工学研究科（工学系） **有機材料システム研究科**
【化学・バイオ工学専攻】 【機械システム工学専攻】 【有機材料システム専攻】

試験日	試験時間	試験科目等
令和3年8月25日（水）	9:00～ (1人20分程度)	面接及び口頭試問（*）

【情報・エレクトロニクス専攻】

試験日	試験時間	試験科目等
令和3年8月25日（水）	9:00～ (1人30分程度)	面接及び口頭試問（*）

* 試験の内容、持参品等については、各専攻にお問合せください。

※建築・デザイン・マネジメント専攻の外国人留学生入試は、本要項とは別に募集要項を作成し入学者選抜を実施しました。

9 試験場

山形大学工学部試験場 米沢市城南四丁目3-16

10 受験者心得

1 受験票について

- (1) 試験当日は、**受験票を必ず持参**し、試験場に入場する際に提示してください。
- (2) 試験場では、常に受験票を携行し、受験中は係員の指示に従ってください。
- (3) 試験当日、受験票を忘れた場合は、入場の際、係員に必ず申し出て、仮受験票発行の手続きをとってください。
- (4) 受験票を紛失した場合は、速やかに山形大学工学部入試担当に申し出てください。
- (5) 受験票は、**入学手続の際に必要**となりますので、合否が確定するまで大切に保管してください。

2 天候等により、交通機関に乱れが生じる場合があります。天候状況及び交通機関の運行状況を確認し、できるだけ**試験前日までに米沢市に到着する**など、**各自の責任において必要な対応をとってください。**

3 受験者は、試験開始時刻 30 分前までに試験場に到着してください。

4 試験開始時刻に遅れた場合は、係員に申し出て指示を受けてください。

5 試験開始後 20 分を経過した後は、試験室への入室を認めません。

6 試験当日、交通機関の事故又は災害等が発生した場合、試験開始時刻を繰り下げることがあります。

7 筆記試験等における留意点について

- (1) 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。）、直線定規、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの）、目薬です。

- (2) 試験室では、他人のものを借用したり、共用したりしてはいけません。

- (3) 試験時間内の退室は認めません。受験中の発病等やむを得ない場合には、挙手をして監督者の指示に従ってください。

- (4) 不正行為があると認められた者の答案は、すべて無効とします。

8 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。

9 試験時間中は、時計のアラーム等を使用してはいけません。

10 試験が午後にわたる受験者は、昼食を持参することが望まれます。

11 試験当日は、自動車・バイクによる入構を禁止します。

12 試験当日は、受験者以外は試験場建物内に立ち入ることができません。

13 受験のための宿泊施設については、本学ではあつせんしません。

14 試験当日、試験場付近や最寄りの駅周辺等で合否メール等の受付をする者がいます。これらの者は本学とは何ら関係なく、トラブルが生じて本学は一切責任を負いませんので、十分注意してください。

また、アンケート等と称して、住所や電話番号を書かせたりする者がいますが、これらの者についても本学と何ら関係なく、個人情報悪用される場合がありますので、慎重に対応してください。

11 受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談

本学に入学を志願する者で、病気・負傷や障害等のために受験上及び修学上の配慮を希望する方は、入学願書の出願受付開始**2～3週間前**までに山形大学工学部入試担当（電話(0238)26-3013）に相談してください。

なお、相談内容によっては、本学において事前の準備を必要とする場合がありますので、できるだけ早めに相談してください。

12 合格者の発表

令和3年 9月2日(木) 11時(予定)

山形大学工学部／大学院・理工学研究科／有機材料システム研究科ホームページ (<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp>) に合格者の受験番号を掲載します(発表直後はアクセスが集中し、つながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいて再度アクセスしてください)。

なお、合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を送付します。

13 入学手続

入学手続は次のとおりです。

(1) 入学手続期間

令和3年 9月14日(火)～9月17日(金)まで
受付時間は、9時から16時30分までとします。

(2) 入学料

入学手続の際に、入学料を納付していただきます。

○入学料 282,000円

(3) 提出書類

詳細については、合格通知の際にお知らせします。

(4) 留意事項

入学手続完了者が、令和3年9月30日(木)までに入学を辞退した場合であっても、入学料は返還しません。

14 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料 年額535,800円(予定額)

(注) 1 上記の金額は、予定額です。

2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

15 その他

(1) 提出いただいた入学試験に関する個人情報には次の目的のために利用し、当該情報を第三者に開示、提供及び預託することはありません。

- ① 入学者選抜試験実施のため
- ② 入学手続業務のため
- ③ 入試統計調査のため
- ④ 就学上必要な本学での業務のため
- ⑤ その他大学として必要な業務のため

(2) 提出書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

16 教育方法の特例措置について

近年の科学技術の進歩に伴い、大学院における社会人研究者、教育者及び技術者の再教育への要請が高まっています。しかし、社会人の多くは、修学期間あるいは地理的制約から通常の方法では再教育の機会を十分に利用できないのが実情です。

このため、大学院設置基準第14条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定され、社会人研究者、教育者及び技術者の修学に特別措置を行うことができるよう配慮がなされています。

本研究科でも、社会人受入れに当たり、教育上特に必要と認められる場合には、教育方法の特例措置を実施しております。

教育方法の特例措置は次のとおりです。

- 1 通常の時間帯（8:50～16:10）以外に、特例措置の時間帯（16:20～21:10）に履修できるものです。
- 2 土曜・日曜日も履修できるものです。
- 3 必要に応じて夏季・冬季休業期間中も履修できるものです。
- 4 特例の時間帯による履修を希望する者は、当該年度当初に、指導教員の承認を得た上、適用授業科目名、時限、時期等を出願し、授業担当教員の許可を得るものとします。

17 長期履修学生制度について

職業を有している等の事情によっては、本研究科の標準修業年限（2年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程修了することができる制度です。この制度の利用や授業料の納入方法等の詳細については、山形大学工学部教育支援担当（電話（0238）26-3015）に照会してください。

18 教育訓練給付制度について

理工学研究科「建築・デザイン・マネジメント専攻」では社会人のビジネススキルアップを目的として、企業や自治体等で活躍している社会人に、マネジメント教育を実施しています。

同専攻は「教育訓練給付制度厚生労働大臣指定教育訓練講座」の指定を受けており、修了後本人がハローワーク（公共職業安定所）へ申請することで、雇用保険の被保険者期間（原則3年以上）により、最大10万円の教育訓練給付金が支給されます。

制度の詳細については、山形大学工学部教育支援担当（電話（0238）26-3015）へ照会してください。

教育訓練給付制度とは

働く人の主体的な能力開発の取組みを支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です。

一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者（在職者）又は一般被保険者であった方（離職者）が、厚生労働大臣の指定する教育訓練を受講し修了した場合、本人自らが教育訓練施設に支払った教育訓練経費の一定割合に相当する額（上限あり）がハローワーク（公共職業安定所）から支給されます。

19 研究科の概要

理工学研究科（工学系）

1 研究科の組織

本研究科は、前期2年及び後期3年に区分し、前期2年の課程を修士課程、後期3年の課程を博士課程として取扱います。

理工学研究科 博士前期課程 (工学系)	化学・バイオ工学専攻
	情報・エレクトロニクス専攻
	機械システム工学専攻
	建築・デザイン・マネジメント専攻

理工学研究科 博士後期課程 (工学系)	物質化学工学専攻
	バイオ工学専攻
	電子情報工学専攻
	機械システム工学専攻
	ものづくり技術経営学専攻

2 各専攻担当教員等

詳細については、山形大学工学部／大学院・理工学研究科／有機材料システム研究科ホームページ (<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp>) 「大学院受験生の方」の以下のページをご覧ください。

○理工学研究科 博士前期課程担当教員表

<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/ex-graduate/>

○博士前期課程シラバス

<https://www.yamagata-u.ac.jp/gakumu/syllabus/2021km/top.htm>

有機材料システム研究科

1 研究科の組織

本研究科は、前期2年及び後期3年に区分し、前期2年の課程を修士課程、後期3年の課程を博士課程として取扱います。

有機材料システム研究科 博士前期課程	有機材料システム専攻
-----------------------	------------

有機材料システム研究科 博士後期課程	有機材料システム専攻
-----------------------	------------

2 各専攻担当教員等

詳細については、山形大学工学部／大学院・理工学研究科／有機材料システム研究科ホームページ (<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp>) 「大学院受験生の方」の以下のページをご覧ください。

○有機材料システム研究科 博士前期課程担当教員表

<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/ex-graduate/>

○博士前期課程シラバス

<https://www.yamagata-u.ac.jp/gakumu/syllabus/2021km/top.htm>

令和3年度

山形大学大学院理工学研究科博士前期課程（工学系）

山形大学大学院有機材料システム研究科博士前期課程

（令和3年10月入学）

入学願書

選 抜 区 分	<input type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生入試 （該当区分にチェックしてください。）		受 験 番 号		
			*		
ふりがな 氏 名			性別	男 ・ 女	
（外国人留学生入試志願者は、漢字若しくはローマ字で記入。）					
生 年 月 日	昭和・平成	年	月	日（満 歳）	
	（西暦	年）			
志 願 専 攻 名		専 攻	希望指導教員名		
出身（在籍） 大 学 等	【大 学】	大学	
	【大学以外の場合】	学 部	
		学 科	
		昭和・平成・令和	年	月 日（卒業・卒業見込）	
E-mail					
志 願 者 の 現 住 所	〒 住所 電話（ ） - 携帯電話 - -				
保 護 者 の 氏 名 ・ 住 所	〒 住所 氏名 電話（ ） -				
（社会人入試を志願する場合は記入不要。）					
勤 務 先 名 ・ 所 在 地	会社（機関名） 〒 住所 電話（ ） -				
（社会人入試を志願する場合記入してください。）					
履 歴	区 分	在 籍 期 間		事 項	
	学 歴 （大学入学時から記入してください。 外国人留学生入試志願者は、小学校入学時から記入してください。）	年 月 日～	年 月 日	卒業・卒業見込・退学	
		年 月 日～	年 月 日	卒業・卒業見込・退学	
		年 月 日～	年 月 日	卒業・卒業見込・退学	
		年 月 日～	年 月 日	卒業・卒業見込・退学	
		年 月 日～	年 月 日	卒業・卒業見込・退学	
	職 歴	年 月 日～	年 月 日		
		年 月 日～	年 月 日		
		年 月 日～	年 月 日		
		年 月 日～	年 月 日		
年 月 日～		年 月 日			

【記入上の注意】

- *印の欄は記入しないでください。
- 直接記入する場合は、黒のボールペンを必ず本人が記入してください。訂正する場合は、訂正箇所を二重線で消し訂正印を押してください。
- 在籍期間の欄は、卒業・卒業見込・退学いずれかを○で囲んでください。
- 「氏名」は、外国人留学生入試志願者は、漢字若しくはローマ字とし、姓(Last(Family)name)、名(First(Given)name)、ミドルネーム等の順で記入してください。
- 提出の際は、事前に希望指導教員にご相談してください。

令和3年度山形大学大学院
理工学研究科博士前期課程（工学系）
有機材料システム研究科博士前期課程
（令和3年10月入学）

写 真 票

受験番号	*
志願専攻名	
氏 名	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"><p>写真はり付け欄 (4 cm × 3 cm)</p><ul style="list-style-type: none">● 出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きのものとしします。● 写真の裏面全体このり付けしてください</div>	

* 印の欄は記入しないでください。

令和3年度山形大学大学院
理工学研究科博士前期課程（工学系）
有機材料システム研究科博士前期課程
（令和3年10月入学）

受 験 票

受験番号	*
志 願 専攻名	
氏 名	

- 1 本票は、**試験当日必ず持参**してください。
- 2 試験開始時刻30分前までに試験場に到着してください。
- 3 試験開始後20分を経過した後は、試験室への入室を認めません。
- 4 本票は、入学手続の際に必要となりますので、合否が確定するまで大切に保管してください。
- 5 本票を紛失したときは、山形大学工学部入試担当へ申し出てください。
- 6 *印の欄は記入しないでください。

【令和3年度大学院〔理工学研究科〕
有機材料システム研究科〕博士前期課程(10月入学)用】

(社会人入試用)

受験 番号	*
----------	---

研究（希望）計画書

令和 年 月 日作成

氏 名

研究課題 (又は研究分野)
研究計画の概要 (1,000字以内)

*印の欄は記入しないでください。

山形大学大学院理工学研究科
山形大学大学院有機材料システム研究科

受 験 番 号	*
------------	---

研究（希望）計画書

研究計画の概要（1,000字以内）

*印の欄は記入しないでください。

山形大学大学院理工学研究科
山形大学大学院有機材料システム研究科

【令和3年度大学院（理工学研究科）
有機材料システム研究科】博士前期課程(10月入学)用】

(社会人入試用)

受験 番号	*
----------	---

職 務 経 歴 書

令和 年 月 日作成

氏 名

職 歴	勤 務 時 間	勤 務 先	主 な 職 務 内 容
研究計画に関する過去の職務内容（1,000字以内）			
研究業績等【論文，報告書（社内報を含む），口頭などの発表があれば，その題名，発表機関，発表年月等を記入】			

* 印の欄は記入しないでください。

山形大学大学院理工学研究科
山形大学大学院有機材料システム研究科

ラベル票

① 受付簿用

志願研究科・専攻名： 大学院理工学研究科博士前期課程（工学系） _____ 専攻
 大学院有機材料システム研究科博士前期課程 有機材料システム 専攻
 ● <志願する研究科にチェックしてください>

受験番号	フリガナ		性別	出身学校等		
	氏	名		都道府県名	学校名	卒業（見込み）年月
*			男・女		大学 学部 学科	昭和 平成 年 月 令和

注1：都道府県名の欄には、出身学校等のある都道府県名（出身学校が外国の場合は国名）を記入してください。
 2：卒業（見込み）年月の欄には、卒業年月又は卒業見込み年月を記入してください。
 3：*印の欄は、記入しないでください。

② 合格通知用

□□□□□□□□

様

電話番号 () -

受験番号
*

③ 書類発送用

□□□□□□□□

様

電話番号 () -

受験番号
*

④ 書類発送用

□□□□□□□□

様

電話番号 () -

受験番号
*

⑤ 書類発送用

□□□□□□□□

様

電話番号 () -

受験番号
*

注1：②から⑤はすべて記入してください。
 2：合格通知書及び合格発表後の郵便物を確実に受け取ることのできる郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入してください。
 3：出願後、住所変更した場合は、工学部入試担当に速やかに連絡してください。
 4：*印の欄は、記入しないでください。

入学資格審査願

●<志願する研究科を○で囲んでください>

令和3年度山形大学大学院 [理工学研究科] 博士前期課程 (令和3年10月入学) に
有機材料システム研究科
出願したいので、同資格の審査をお願いします。

令和 年 月 日

氏名 (署名) _____ ※

住所・電話番号等

〒			
電 話 ()	—		
携帯電話	—	—	
E-mail			

志願専攻名

[専攻]
---	--	----	---

最終卒業学校名

[]
---	--	--	---

卒業 (修了) 年月日

[年		月		日	卒業 (修了)]
---	--	---	--	---	--	---	---------	---

現職等 (所属機関・部署・職名等)

[電話()	—]
---	--	--	--	--	--	-------	---	---

※ 外国人留学生入試志願者は、漢字若しくはローマ字とし、姓(Last(Family)name)、名(First(Given)name)、ミドルネーム等の順で記入してください。

受験 番号	*
----------	---

令和3年度
山形大学大学院理工学研究科博士前期課程（工学系）
山形大学大学院有機材料システム研究科博士前期課程
（令和3年10月入学）

入学試験出願資格認定審査調書

ふりがな		現職	
氏名		現住所	
生年月日（年齢）	昭和 平成 年 月 日（満 歳）		
志願専攻名		専攻	希望指導教員名
学歴（高等学校卒業時から記入してください。）			
年 月 日	事 項		
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
職歴			
年 月 日	事 項		
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
過去の職務内容と今後の研究内容			

[注] 外国人留学生入試の入学資格審査を受ける者は、別紙「入学試験出願資格認定審査調書（外国人留学生入試用）」
を使用してください。
* 印の欄は記入しないでください。

山形大学大学院理工学研究科
山形大学大学院有機材料システム研究科

受験 番号	*
----------	---

令和3年度

山形大学大学院理工学研究科博士前期課程（工学系）

山形大学大学院有機材料システム研究科博士前期課程

（令和3年10月入学）

入学試験出願資格認定審査調書（外国人留学生入試用）

ふりがな 氏名 <small>（漢字若しくは ローマ字で記入）</small>		現職	
生年月日（年齢）	年 月 日（満 歳）	現住所	
志願専攻名	専攻	希望指導教員名	
学 歴（小学校入学時から記入してください。）			
在 籍 期 間		年 数	事 項
年 月 日～	年 月 日	年 月	
年 月 日～	年 月 日	年 月	
年 月 日～	年 月 日	年 月	
年 月 日～	年 月 日	年 月	
年 月 日～	年 月 日	年 月	
年 月 日～	年 月 日	年 月	
年 月 日～	年 月 日	年 月	
年 月 日～	年 月 日	年 月	
年 月 日～	年 月 日	年 月	
年 月 日～	年 月 日	年 月	
通 算		年 月	
職 歴			
年 月 日	事 項		
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
過去の職務内容と今後の研究計画			

* 印の欄は記入しないでください。

山形大学大学院理工学研究科
山形大学大学院有機材料システム研究科